



市長提出議案

前ページから続き

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億1759万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ219億7212万2000円となりました。

また、平成27年度から28年度を期間とする施政施行20周年記念式典運営支援業務委託事業の債務負担行為が、651万2000円で定められました。

なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっています。

●特別会計補正予算 (単位：千円)

会計別	補正額	歳入歳出予算総額
国民健康保険	390,727	9,226,662
下水道事業	48,138	1,332,427
農業集落排水事業	1,217	63,251
介護保険	306,516	3,570,214
後期高齢者医療	1,927	446,339

一般会計補正予算

こんなことに使われます

企画調整事業

328万5000円

市の重要施策の総合調整及び円滑かつ効果的な推進を図るために設置する参与の報酬等を支払うためのものです。

市制施行20周年記念式典運営支援業務委託事業／債務負担行為

651万2000円

市制施行20周年記念式典の会場設営や音響など、式典の運営支援業務を委託するものです。

空家等対策事業

15万9000円

空家等対策に関する施策を推進するために設置する協議会の委員に報酬を支払うものです。

道路維持補修事業

6720万9000円

急を要する道路整備等に対応するものです。



討論

平成26年度一般会計決算に対し、4名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党
吉川市議員団
佐藤 清治

賛成

自民・みらい
安田 真也

賛成

公明党
吉川市議員団
五十嵐恵千子

賛成

市民改革クラブ
稲垣 茂行

消費税の8%への増税によって水道料金などで市民は1億4330万1千円の負担増となった。

市独自に市民生活を守る対策をとるべきだったが実施しなかった。

一般会計決算は多くの市民要望に答えていない中、6億2747万2千円も使い残した。

「行革」の中で一律カットされた、家賃補助、料金が引き上げられた配食サービス、無料化の年令が引き上げられた温水プールの料金を元にもどしていることが必要です。

第2給食センターの調理業務の民営化、身近な道路維持・補修・道路改良事業は市民要望に十分応えていません。

用排水路整備も要望件数124件の中で未着手の件数は50件を数えるものとなっている。こうした点を指摘し決算の認定には反対といたします。

先日の台風18号の影響により、吉川市においても道路冠水や、中川の水位が「氾濫危険水位」を超える状況があり、改めて災害への備えの重要性を痛感いたします。平成26年度は、地域防災計画の改定、防災マップの作成や災害用便槽の整備、市内保育所において、災害時用の備品や備蓄物資の充実が図られ、災害への備えを計画的に取り組んでいると評価いたします。

子育て環境の整備についても、「子ども・子育て支援事業計画」の策定、認可保育所整備費の補助や、中1ギャップ対策、27年4月から全小中学校に特別支援学級が設置されるよう準備をいただきました。

また、シティプロモーション事業の事業化や、公共施設等総合管理計画の策定や新たな道路整備、既存の生活道路や農業用排水路の補修及び整備に取り組んでいただきました。

市民が誇れるような市政運営をお願いし、賛成といたします。

平成26年度、当市においては、国の動向に注視するとともに、貴重な財源を市民生活の向上につなげるために、適切に補正予算を計上し、対応した1年であったと認識しています。

注目すべき点としては、今年4月にオープンした民間の認可保育所建設費の補助、保護者支援のための講座開催、子育て応援専用サイトの構築、学校施設の耐震化完了、防災用資機材や備蓄物資の計画的な整備、災害図上訓練の実施、情報提供ツールの啓発と水害に備えたタムライン(事前防災行動計画)の構築に関しては、今後一層力を入れ取り組まれることを期待します。照度の高いLED防犯灯の導入、生活道路や農業用排水路の整備など、市民生活の向上に直結する取り組みが数多くあり、前向きな姿勢が感じられる予算執行であったと評価します。

今後もこれまでの経緯を踏まえながら、様々な課題に取り組まれることを期待し、賛成討論とします。

東日本大震災から4年半が経過しました。避難者は未だ19万9千人を数え、仮設住宅等には、13万5千人が生活しています。

安倍政権は、『デフレからの脱却』を目指した戦略を柱に、政権運営を進めてきました。

また今年5月、『安全保障関連法案』を国会へ提出し、現在参議院で審議されています。

26年度は、第5次総合振興計画の重点テーマに沿った、事業の進展が見られました。

防災・減災では、地域防災計画と防災マップの見直しやポンプ場の設備更新、吉川小学校体育館の耐震化が図られました。

保育幼稚園課が新設され、「子ども子育て支援事業計画」を策定。高齢者福祉では、「第6期介護保険事業計画」を策定。その他事業についても、一定の前進が見られたと考えます。

市には、『実効性のある効率的な行政運営』と『開かれた市政の実現』を求め、26年度決算に同意し、賛成討論と致します。